



八中だより



令和7年4月17日 4月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

学校風土を向上させ居心地のよい学校づくりを

校長 馬場 誠

日に日に景色が春の彩りを添える中、爽やかな表情を浮かべて新入生139名（4クラス）が校門をくぐりました。新しい仲間を迎え、本校もまた新しいスタートを切ることができました。2年生110名（3クラス）、3年生117名（3クラス）、計366名（10クラス）と昨年度より1クラス減となりましたが、小さいながら、その分アットホームな雰囲気をもって和顔愛語の心が行き渡った笑顔の絶えない学校にしていきたいと思っています。

さて、本校では、今年度のスローガンを下段のように決めました。これまでも生徒たちの満足度が高い学校でしたが、今年度はさらに学校風土を高め、誰もが良い学校に通えていると実感できるようにしていきたいという思いが込められています。

そこで今年から2年間、本校では、東京都と医学総合研究所が協定を結び行う新しい研究事業を進めることにいたしました。名称を「学校の居心地向上プロジェクト」といいます。

これは専門のコーディネーターを学校に招き入れ、OECD（経済協力開発機構）でも注目されているエージェンシー（生きる力として育成を目指す主体的に取り組む能力）を高め、生徒たち自身の働きかけで学校生活を向上させることにより、思春期にある子供たち全員のメンタルを向上させるという新しい手法で、国際的にも認められた事業です。東京都医学総合研究所の西田敦志様（東京大学教授）にご指導を仰ぎながら進めてまいります。いずれ生徒たちの間からこれを進めていくリーダーたちを募りますので、積極的な参加を期待しています。

一方、本校ではもう一つ、「デジタルを活用したこれからの学び」という研究事業にも今後2年間取り組んでまいります。これは東京都及び調布市の研究として行う事業で、デジタルを上手に使いこなして、自ら学び方を選択し、「自立した学習者」を目指す取組です。最先端のデジタルに触れる機会を増やしてまいります。

また、今年度はいよいよコミュニティスクールが本校でも発足し、さらに地域との結びつきを強めてまいります。学校運営協議委員の皆様の意見を直接的に学校運営に反映しながら、これまで続けてきた地域ボランティア活動や地域防災なども更に充実化に向けて努めてまいります。

一方、今年度も体育祭、合唱祭、作品展示会を「3大行事」と位置づけ、保護者や地域の皆さんに広くご参観いただきたいと思っています。なお、これまで地域調べや職場体験、校外学習などの総合的な学習の時間で取り組んだ成果を3学期にまとめて発表してきましたが、それぞれの取り組み期間中にそのつど保護者の皆様へご案内を差し上げますので、ぜひ生徒たちが発表する姿をご覧いただければと思います。

不登校対策に関しましても、昨年度同様、不登校別室OCTO（オクト）の運営を推進し、誰一人取り残さない体制を継続してまいります。今年度はスクールカウンセラーの配置も増員（2名から3名へ）いたしました。相談がある方はどうぞご利用ください。

さて、部活動に関しましては昨年度から申し上げている通り、現在、少しずつ再編を進めております。クラス数減に伴う限られた教員数の中、生徒の活動を保障しつつ、学校としてできる精一杯の体制を考えて対応していますので、どうぞご理解いただきたいと思います。

今年度も学校、保護者、地域が一体となって生徒の成長を支え素晴らしい学校づくりをしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈令和7年度スローガン〉 心理的安全性を高め 居心地の良い学校を作ろう